

みどりの風

(URL) <http://www.ginzado.ne.jp/~k-iskwj/> (E-mail) k-iskwj@educet.plala.or.jp

まとめと準備の大事な3学期を迎えて

3学期
スタート!



保護者・家族、地域の皆さん、冬休みの間、本当にありがとうございました。子どもたちは、大きな事故や怪我もなく、無事に3学期を迎えることができました。学期の後には進級・進学（卒業式）があり、また、学ぶ日が一番少ない中で、成長をより強固なものとし、学習もまとめ上げなければならない大事な3学期です。最後までよろしく願っています。

さて、やる気に満ちた心で登校し、先生や仲間と学び、明るく楽しく生活していくために、今日の始業式では、以下のような話をしました。

3学期は「1年をまとめる時期」だと言われます。では1年間をまとめるとは何をすることでしょうか。校長先生は、次のように考えています。



- ① この1年間で、どんな勉強をしたか思い出すこと。そして自分なりにできたことと苦手だったこと（ここは復習する）を見つけておくこと。
- ② この1年間で、行事とか学級での生活とか友達との触れ合いの中でどんなことがあったか思い出すこと。そして自分なりにうまくできたことと苦手だったなと思うこと（次はこうやってみようと考えておく）を見つけておくこと。
- ③ 一年前の自分と比べて、自分のどんなところが成長したか見つけておくこと。そして来年はこれをもっと上手になりたいか用意して（決めて）おくこと。

では、どうして1年間のまとめをするのか。それは、この3学期が次の学年につなげていくための「準備」の時でもあるからです。何も準備をしないで進級した人と、きちんと準備をして進級した人とは、生活や学習の「成長の度合い」が違います。自分の成長に気付き、弱かった部分には、（次は）こうやってみようと思って行動する…。何をすることも「準備」が大事です。

阪神タイガースに「新庄剛志」という選手がいました。巨人との対戦で、得点は4対4で同点のまま延長戦になった試合がありました。延長12回の裏、阪神の攻撃。ランナー1塁と3塁。ヒットが出れば阪神のサヨナラ勝ちの場面。ここに登場したのが新庄選手でした。ここまでの数試合、新庄選手は絶好調。この日も前の打席でホームランを打っていました。巨人は、新庄選手に打たれないように作戦を立てました。「敬遠」です。誰もがフォアボールで1塁に行くと思った時、巨人の投手が投げたボールを打ったのです。

派手なことが好きで何も考えていないような（失礼）イメージだった新庄選手。実は、この前の試合でも何度か敬遠されていました。コーチに、「今度敬遠されたとき、打てそうだったら打ってもいいですか」と相談していたそうです。監督にも許可をもらった新庄選手は、バッティング練習の時、敬遠するようなボールをたくさん投げてもらい、それを打つ練習をしていました。そうやって準備していたところに、例の場面が訪れたというわけです。最初の敬遠のボールは見逃しました。巨人の投手もまさか敬遠の悪いボールを打つとは思っていなかったでしょう。新庄選手がコーチの方を見ると、打ってもいいとサインが届きました。敬遠の2球目。カーン。そのボールを見事にヒット。阪神はサヨナラ勝ちを収めました。



3学期、進級や「もしそうなったら」という場面に備えて、準備や練習をしっかりやっ払いこう